

# 令和3年度 特定非営利活動法人晃智会 事業計画書

令和3年5月21日

## 1. 総論

前年度はコロナ禍において利用者数伸び悩みがあったものの当初予算を上回る収益を確保できた。

本年度はコロナで先行きが不透明の中、R3年度報酬改定において本年度は基本報酬が2~3%減少すること、職員雇用維持のためにも新規利用者確保が優先課題となる。

昨年度同様に新規事業計画を展開するかは年度内の社会情勢に合わせて柔軟な対応をとっていくほかないが、昨年度の傾向として現利用者数維持のためには利用者やその関係者の不安を減らすことへの対応強化が必要と思われる。また昨年引き続き事業所職員の雇用、生活を守るために行政の助成など有効活用しつつ業務量調整も検討していく。

## 2. 重点目標・業務計画

### (1) 稼働計画

損益分岐点となる稼働率

⇒平均稼働率 75% (一日平均 15人)

### (2) 業務計画

①現状の施設運営を維持

②需要に合わせた営業時間の拡大

③2店舗目の生活介護施設、放課後デイサービス事業

④SNSの活用による家族間交流の場の作成、ROHASからの情報提供

### (3) 業務改革

①業務のオンライン化

・会議や勉強会のオンライン化

・各種書類のオンライン化

②勤怠調整

・利用者数に合わせての休業制度の導入

・送迎体制改革(直行直帰システム)

### (4) 人員

・コロナウイルス終息まで休業制度を利用しつつ、人員の維持

人員基準 1.7:1 を維持

・将来を見据えた新卒の若い世代の受け入れ